



美術教育とジャーナリズム

～言語活動を造形活動に生かすための表現リテラシー～

東京都NIE推進協議会(高等学校部会)月例研修会

2025/6/13/fri.

大阪府立西成高等学校 菊永真美



© 2025 菊永真美 (大阪府立西成高等学校) / 無断転載・使用を禁じます。引用の際は出典を明記してください。

今春、
大阪府立登美丘高等学校から
大阪府立西成高等学校へ
異動となりました。

西成高校でまだ2ヶ月ですので、
本日は登美丘高校での実践を
お話しさせていただきます。

© 2025 菊永真美 (大阪府立西成高等学校) / 無断転載・使用を禁じます。引用の際は出典を明記してください。



MAP



目次

- ・表現とは
- ・美術科でのNIE実践
- ・美術科でのジャーナリズム
- ・昨年度の実践
 - 1年【言葉のデベイズマンによる絵画】
 - 2年【社会派絵画web版】
 - 1年【美学：『排除アート』は是か非か】
- ・分析と考察
 - アンケート集計
 - ①新聞購読について
 - ②日常生活でニュースに触れる頻度と媒体
 - ③本作品で選んだニュース
 - ④興味のあるニュース
 - ⑤自分から発信するとしたら
 - ⑥『言葉』と『表現』の関係
 - ⑦美術でNIE授業を受けて
- ・おわりに
- ・追加：西成高校での取り組みに向けて

© 2025 菊永真美 (大阪府立西成高等学校) / 無断転載・使用を禁じます。引用の際は出典を明記してください。

美術＝表現活動



© 2025 菊永真美 (大阪府立西成高等学校) / 無断転載・使用を禁じます。引用の際は出典を明記してください。



表現リテラシーとは

リテラシー(コトバンクより)

- 1 読み書き能力。また、与えられた材料から必要な情報を引き出し、活用する能力。応用力。
- 2 特定の分野に関する知識や、活用する能力。「コンピューターリテラシー」「情報リテラシー」



美術教育では造形活動による「表現」の思考や技能を養い活用できるようにすることが目的…「表現リテラシー」とした

© 2025 菊永真美 (大阪府立西成高等学校) / 無断転載・使用を禁じます。引用の際は出典を明記してください。

心豊かな生活や社会を創造していく態度 (学習指導要領 高等学校「美術Ⅰ」目標より)

生活や社会を造形的な視点で幅広く捉え、生活環境を美しく造形的に構成するとともに、人々がともに心豊かに生きることのできる社会を創造しようとする態度を示している。

© 2025 聖永美術 (大阪府立西成高等学校) / 無断転載・使用を禁じます。引用の際は出典を明記してください。

美術における表現活動の流れ

感じたことや考えたこと、内なる思いや衝動

どのように表すのか？

新聞

調べたり考えたりして、
イメージを具体化

モチーフ、材料、技法など、もっとも適したものを選ぶ

見せ方や構図、技術的な工夫を凝らして形にしていく

表現



© 2025 聖永美術 (大阪府立西成高等学校) / 無断転載・使用を禁じます。引用の際は出典を明記してください。

表現にまず必要なことは

「主題を生成すること」

学習指導要領3内容A表現(1)より



身近な生活の中から自ら感じ取ったことや考えたこと

➡ 追求し深めていくことの大切さ

しかし、生徒のつまづきポイントはまずここに…

「表現したいものが見つからない」「イメージとか苦手」
「何も思いつかない」「ヒントや元ネタがないと無理」
「何となく思いはあるが、漠然としすぎて…」



主題
とは？

© 2025 聖永美術 (大阪府立西成高等学校) / 無断転載・使用を禁じます。引用の際は出典を明記してください。

美術でNIEを実践するに至った経緯

美術とは、感じたこと考えたことを表現すること

美術史上に残る作品は社会の動きとリンクしている

イメージを具体化させたり膨らませたりするための引き出し
表現力を高め、他者に伝えるには、知識や経験の裏打ちが必要

新聞は社会や人間の情報の宝庫であり、
日々変化し続けているから、
美術教育に適した教材である



アルフォンス・ミュシャ
「スラフ叙事詩」



フランシスコ・ゴヤ
「マドリッド、1808年5月3日」

© 2025 聖永美術 (大阪府立西成高等学校) / 無断転載・使用を禁じます。引用の際は出典を明記してください。

歴史上での芸術の立ち位置



- 芸術は美術だけでなく映画でも音楽でも演劇でも、娯楽の要素が強いようである、実は政治的・社会的メッセージが強く含まれていることが多い。
- 例えば、モーツァルトも娯楽のようである王政批判が含まれていたし、その方が大衆受けするという背景もあった。芸術を志すには、そのような、社会や人間の動向をキャッチするアンテナが必要であることがわかる。
- なぜなら、美術史において、「自己表現」はほんの最近に過ぎず、写真発明以前、絵画は報道としての社会的役割を担った歴史があるからだ。映像の時代となっても、現代美術においてその側面を有している作品は少なくない。

© 2025 聖永美術 (大阪府立西成高等学校) / 無断転載・使用を禁じます。引用の際は出典を明記してください。

美術で新聞はメリットがたくさん！



- 報道写真から、ものの捉え方や構図・構成を学ぶことができる。
- 写真から、デッサンの基本となるグレースケールを掴める。
- いろいろな分野の情報が網羅されているので、動機付けにつながる選択肢が多い。
- 取材に基づく事実を知ることによって確かな情報と知識が得られる。
- 見出しから言葉の視覚的効果を学べる。レタリングの練習にも。
- 記事のレイアウトから、重要度や関連性が直感的に掴める。
- 手に取って広げて見ることが出来る。美術にとって、「手に取る」ことの意味は非常に大きい。
- インタビューやコラムから、考えを広げたり深めたりできる。

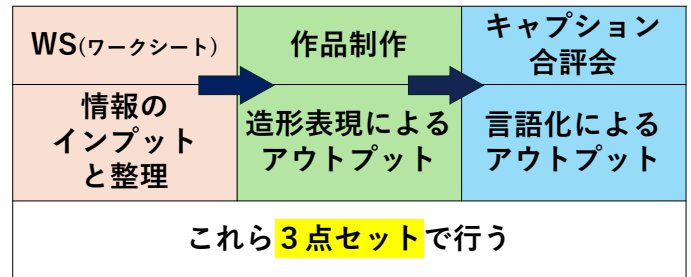
© 2025 聖永美術 (大阪府立西成高等学校) / 無断転載・使用を禁じます。引用の際は出典を明記してください。

新聞を使うときに心がけていること

- ①一人一紙持たせる。特定の目的（美学・美術史の単元）でない限りは、教員が記事を選んで渡すということはない。
- ②美術は自分と向き合い、自分を表現し、それを他者に伝えることがねらいであるから、「新聞と新聞」ではなく「私と新聞」であることを意識する（そこが社会科とは少し違う？）。
- ③美術にとって新聞は、画材などのツールと同じと考え、表現のための良き相棒として、作品制作の最後まで手元に置かせる。
- ④新聞や美術に対する習熟度に応じて適切なタイミングとアプローチで行う。特に、ファーストインプレッションは重要。

© 2025 聖永美術（大阪府立西成高等学校）／無断転載・使用を禁じます。引用の際は出典を明記してください。

美術でNIEをするときの鉄則



© 2025 聖永美術（大阪府立西成高等学校）／無断転載・使用を禁じます。引用の際は出典を明記してください。

3点セットの一例（美術工芸部・立体演習）

情報のインプット
と整理

造形表現による
アウトプット

キャプションまたは
合評会による
アウトプット

© 2025 聖永美術（大阪府立西成高等学校）／無断転載・使用を禁じます。引用の際は出典を明記してください。

美術でのNIE紹介

- ・右脳デッサンワーク
- ・見出しでレタリング
- ・現代アートに挑戦
- ・天平ウクレレ
- ・天平キーホルダー
- ・言葉のデペイズマンによる絵画

見るアプローチ

1 年

難易度
↓
高

2 年

- ・模写
- ・彫刻立体演習
- ・挿絵画家になろう
- ・社会派絵画（新聞）
- ・社会派絵画（web）
- ・I am a photographer.
- ・美学・美術史演習（発表・ディベート）

読むアプローチ

難易度
↓
高

© 2025 聖永美術（大阪府立西成高等学校）／無断転載・使用を禁じます。引用の際は出典を明記してください。

美術の授業といえば
A表現のイメージが強いが、
B鑑賞でもNIEを行なっている

B鑑賞：
美学・美術史演習
（発表・ディベート）
の授業で扱った内容



© 2025 聖永美術（大阪府立西成高等学校）／無断転載・使用を禁じます。引用の際は出典を明記してください。

ゴーギャン展はもう開催すべきではない？	→ ニューヨークタイムズ
「排除アート」は是か否か	→ 神戸新聞
フェルメール展の見方	→ 産経新聞
人物画の変遷	→ 日本経済新聞
ピューリッツァー賞について	
所有者は作品を燃やす権利があるか	
美術の能力と評価に性差は存在するか	
生成AIによる絵画は芸術か	
美術と政治的活動～トマトスプ事件～	

美術科の考える
ジャーナリズム
とは



© 2025 聖永美術（大阪府立西成高等学校）／無断転載・使用を禁じます。引用の際は出典を明記してください。

- ・写真発明以前、絵画は報道としての社会的役割を担ってきた歴史がある。映像が報道を変えた現代においてもなお、モダンアートも報道の側面を失っていない。
- ・世界史と美術史とが連動しているのは、歴史上の重要な事件や人物、人々の生活や風俗が絵画として残されていることから明らかだ。美術史上に残る名画と言われる作品を辿るだけでも、報道としての役割を担ってきたことがわかる。

© 2025 聖永美術（大阪府立西成高等学校）／無断転載・使用を禁じます。引用の際は出典を明記してください。

- ・時代を描き、人間を描き、社会に訴えかける芸術家は途切れることなく現在も登場しており、彼らに共通しているところは、単にその場面を描写するのみにあらずということだ。作品には作者の意図が込められていて、社会に何を訴えかけたいのかという思いと、それを後世に伝え残していくという精神に溢れている。

授業で特にとりあげた芸術家： ミレー、ゴヤ、クールベ、ダヴィッド、ドラクロワ、レーピン、パブロ・ピカソ、ベン・シャーン、バンクシー、藤田嗣治、丸木位里・俊、常田健

© 2025 聖永美術（大阪府立西成高等学校）／無断転載・使用を禁じます。引用の際は出典を明記してください。

美術表現において、広義であれ狭義であれ時事的な問題を切り離すことはできない。そして、その成果物である作品には事実の描写（具象でも抽象でも）と作者の考えやメッセージが込められているから、これは美術の為せるジャーナリズムではないだろうか。

作品制作のため自ら感じ取ったことや考えたことをもとに主題を生成していくためには、美術ならではのジャーナリズム精神を養うことが必要であり、より良い市民として社会に影響を与えることのできる『表現者』の育成に繋がると考えている。

© 2025 聖永美術（大阪府立西成高等学校）／無断転載・使用を禁じます。引用の際は出典を明記してください。

昨年度(2024)の実践



© 2025 聖永美術（大阪府立西成高等学校）／無断転載・使用を禁じます。引用の際は出典を明記してください。

昨年度（2024） のNIEのテーマ

- * 言葉の力
（昨年度から継続）
- * インプットから
アウトプット



© 2025 聖永美術（大阪府立西成高等学校）／無断転載・使用を禁じます。引用の際は出典を明記してください。

1年【言葉のデペイズマンによる絵画】

新聞を読むことが初めての生徒が多いので、初心者向け課題

言葉や文字の力を借りて
視覚表現につなげる

言葉→絵画
インプット→アウトプット

© 2025 聖永美術（大阪府立西成高等学校）／無断転載・使用を禁じます。引用の際は出典を明記してください。

『デペイズマン』の説明のため、生徒に提示したスライドの一部

『デペイズマン』とは？

- デペイズマン（仏: Dépaysement）とは、「異なった環境に置くこと」を意味するフランス語で、シュルレアリスム(超現実主義)の手法の1つ。日常から切り離れた意外な組み合わせを行うことによって、受け手に強い衝撃を与えるもので、文学や絵画で用いられる。
- シュルレアリスムの芸術家たちの概念のひとつ、「本来あるべき場所から物やイメージを移し、別の場所に配置すること、そこから生じる驚異」を指す。

つまり【常識を飛び越える】こと

© 2025 聖永美術（大阪府立西成高等学校）／無断転載・使用を禁じます。引用の際は出典を明記してください。

【言葉のデペイズマン】めあて

- たくさんの言葉と出会うことで、さまざまな意味や使い方を学ぶとともに、自らの感じたことや考えたことを深掘りしたり整理したりする
- 美術では言葉を視覚で認識する（例：友達、ト・モ・ダ・チ、ともだち。）ということを知り、フォントや大きさ、レイアウトで感じ方・伝わり方が異なるということを体感する
- 言葉の力と、造形表現の相乗効果による新しい自己表現につなげる

© 2025 聖永美術（大阪府立西成高等学校）／無断転載・使用を禁じます。引用の際は出典を明記してください。

制作手順説明のため、生徒に提示したスライドの一部

手順1 新聞から言葉探し

- ① 心に刺さる（響く）言葉や文字を選んで切り抜く
※周囲の残し方など切り方に注意
- ② 選んだ言葉の使われている記事を読む
※記事の内容を理解することで表現の助けになる
- ③ 使用した新聞名・発行年月日の部分も切り抜いておく
※ニュースソースは重要

© 2025 聖永美術（大阪府立西成高等学校）／無断転載・使用を禁じます。引用の際は出典を明記してください。

制作手順説明のため、生徒に提示したスライドの一部

手順2 画用紙にコラージュ（貼付）

- ① 切り抜いた言葉や文字を、効果をレイアウト（配置）を考えながら画用紙にコラージュ（貼付）する
※剥がれないように端までしっかり糊付けする
- ② 自分の作品のイメージを想像しながら貼付
※B:自分の内面を言葉に託すのか、A:記事を読んだ感想や考えを表現するのかで作品の傾向が変わるので、どちらにするか決める
- ③ 作品裏面に、作品の上下を矢印→で記入しておく
- ④ 裏面にキャプションと新聞名・発行年月日部分を切り抜いたものを貼付

© 2025 聖永美術（大阪府立西成高等学校）／無断転載・使用を禁じます。引用の際は出典を明記してください。

制作手順説明のため、生徒に提示したスライドの一部

手順4 言葉や文字からイメージを膨らませ、絵画表現と組み合わせる

- ※言葉や文字と絵を組み合わせることによる視覚的效果を考える
- ※参考資料を用いて調べて描くことで、表現の説得力が増す
- ※自分の表現したいことに合う画材は何かを考える
- ※貼り付けた言葉や文字の見え方に注意する
(目立たせるのか馴染ませるのか)

© 2025 聖永美術（大阪府立西成高等学校）／無断転載・使用を禁じます。引用の際は出典を明記してください。

制作手順説明のため、生徒に提示したスライドの一部

言葉の力と絵画表現の
相乗効果による新しい自己表現
を目指してほしい

© 2025 聖永美術（大阪府立西成高等学校）／無断転載・使用を禁じます。引用の際は出典を明記してください。

制作手順説明のため、生徒に提示したスライドの一部

作品タイプをどちらにするか

A：記事の内容を元に掘り下げて
考えを表現する

B：言葉を借りて自分の感情や
思いを表現する

高難度はAだが、自分の表現しやすい方を選ぶのがよい

© 2025 聖永興美（大阪府立西成高等学校）／無断転載・使用を禁じます。引用の際は出典を明記してください。

作業風景



© 2025 聖永興美（大阪府立西成高等学校）／無断転載・使用を禁じます。引用の際は出典を明記してください。

WS『マインドマップ』記入の前に、生徒に提示したスライドの一部

WS【マインドマップ】選んだ言葉や文字について、表現内容について構想を練る

右の項目へへと
考えを展開・整理
していく

言葉から絵画表現
への変換・連想を
する過程となる

今自分の刺さる言葉・文字や言葉からの想定描写	年	経	過	展	開
① 記事の 概要	なぜ 選んだか	言葉の意味 や字面など からの印象	絵とどう 合わせてい くか	どんなメッ セージを込 めたいか	
②					
③					
④					
⑤					
⑥					

この【変換・連想して
いく過程】が重要！

© 2025 聖永興美（大阪府立西成高等学校）／無断転載・使用を禁じます。引用の際は出典を明記してください。

制作後の『キャプション』記入時に提示したパワーポイントの一部

作品裏面：

新聞名・年月日貼付、キャプションシート、作品の上下へ記入

画用紙裏面
→

© 2025 聖永興美（大阪府立西成高等学校）／無断転載・使用を禁じます。引用の際は出典を明記してください。

1年【言葉のデパイズマン】 作品紹介

© 2025 聖永興美（大阪府立西成高等学校）／無断転載・使用を禁じます。引用の際は出典を明記してください。

朝日新聞4月3日(水)

言葉のDépayementによる想定描写【マインドマップ】				
新聞名	記事の題名	年月日	自分の言葉	自分の言葉
朝日新聞	「希望」	2024年4月3日	希望とは、未来への憧れや、夢を叶えるための努力のこと。希望は、人々の心を繋ぎ、社会を前進させる力がある。	希望は、未来への憧れや、夢を叶えるための努力のこと。希望は、人々の心を繋ぎ、社会を前進させる力がある。
朝日新聞	「希望」	2024年4月3日	希望とは、未来への憧れや、夢を叶えるための努力のこと。希望は、人々の心を繋ぎ、社会を前進させる力がある。	希望は、未来への憧れや、夢を叶えるための努力のこと。希望は、人々の心を繋ぎ、社会を前進させる力がある。
朝日新聞	「希望」	2024年4月3日	希望とは、未来への憧れや、夢を叶えるための努力のこと。希望は、人々の心を繋ぎ、社会を前進させる力がある。	希望は、未来への憧れや、夢を叶えるための努力のこと。希望は、人々の心を繋ぎ、社会を前進させる力がある。
朝日新聞	「希望」	2024年4月3日	希望とは、未来への憧れや、夢を叶えるための努力のこと。希望は、人々の心を繋ぎ、社会を前進させる力がある。	希望は、未来への憧れや、夢を叶えるための努力のこと。希望は、人々の心を繋ぎ、社会を前進させる力がある。
朝日新聞	「希望」	2024年4月3日	希望とは、未来への憧れや、夢を叶えるための努力のこと。希望は、人々の心を繋ぎ、社会を前進させる力がある。	希望は、未来への憧れや、夢を叶えるための努力のこと。希望は、人々の心を繋ぎ、社会を前進させる力がある。

© 2025 聖永興美（大阪府立西成高等学校）／無断転載・使用を禁じます。引用の際は出典を明記してください。

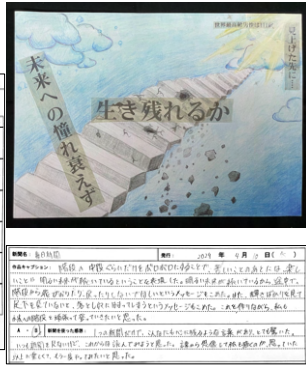


新聞名	記事の題名	年月日	自分の言葉	自分の言葉
朝日新聞	「希望」	2024年4月3日	希望とは、未来への憧れや、夢を叶えるための努力のこと。希望は、人々の心を繋ぎ、社会を前進させる力がある。	希望は、未来への憧れや、夢を叶えるための努力のこと。希望は、人々の心を繋ぎ、社会を前進させる力がある。
朝日新聞	「希望」	2024年4月3日	希望とは、未来への憧れや、夢を叶えるための努力のこと。希望は、人々の心を繋ぎ、社会を前進させる力がある。	希望は、未来への憧れや、夢を叶えるための努力のこと。希望は、人々の心を繋ぎ、社会を前進させる力がある。
朝日新聞	「希望」	2024年4月3日	希望とは、未来への憧れや、夢を叶えるための努力のこと。希望は、人々の心を繋ぎ、社会を前進させる力がある。	希望は、未来への憧れや、夢を叶えるための努力のこと。希望は、人々の心を繋ぎ、社会を前進させる力がある。
朝日新聞	「希望」	2024年4月3日	希望とは、未来への憧れや、夢を叶えるための努力のこと。希望は、人々の心を繋ぎ、社会を前進させる力がある。	希望は、未来への憧れや、夢を叶えるための努力のこと。希望は、人々の心を繋ぎ、社会を前進させる力がある。
朝日新聞	「希望」	2024年4月3日	希望とは、未来への憧れや、夢を叶えるための努力のこと。希望は、人々の心を繋ぎ、社会を前進させる力がある。	希望は、未来への憧れや、夢を叶えるための努力のこと。希望は、人々の心を繋ぎ、社会を前進させる力がある。

毎日新聞2024年4月10日(水)

[illegible]

© 2025 菊永真美（大阪府立西成高等学校）／無断転載・使用を禁じます。引用の際は出典を明記してください。



朝日新聞2024年4月5日(金)

[illegible]

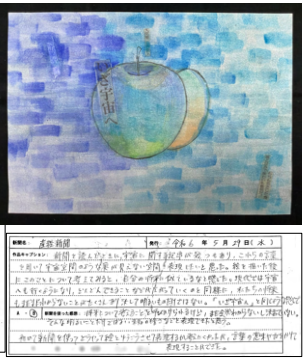
© 2025 菊永真美（大阪府立西成高等学校）／無断転載・使用を禁じます。引用の際は出典を明記してください。



産経新聞2024年5月29日(水)

[illegible]

© 2025 菊永真美 (大阪府立西成高等学校) / 無断転載・使用を禁じます。引用の際は出典を明記してください。



毎日新聞2024年3月28日(木)

事業のDeploymentによる影響分析（マインドマップ）						
影響	影響の範囲	発生可能性	2025年1月	2月	3月	4月
1	既存サービスの提供	影響の範囲が小さい → 影響が小さい	発生は、100% → 影響が小さい	発生は、100% → 影響が小さい	発生は、100% → 影響が小さい	発生は、100% → 影響が小さい
2	既存サービスの提供	影響の範囲が小さい → 影響が小さい	発生は、100% → 影響が小さい	発生は、100% → 影響が小さい	発生は、100% → 影響が小さい	発生は、100% → 影響が小さい
3	既存サービスの提供	影響の範囲が小さい → 影響が小さい	発生は、100% → 影響が小さい	発生は、100% → 影響が小さい	発生は、100% → 影響が小さい	発生は、100% → 影響が小さい
4	既存サービスの提供	影響の範囲が小さい → 影響が小さい	発生は、100% → 影響が小さい	発生は、100% → 影響が小さい	発生は、100% → 影響が小さい	発生は、100% → 影響が小さい
5	既存サービスの提供	影響の範囲が小さい → 影響が小さい	発生は、100% → 影響が小さい	発生は、100% → 影響が小さい	発生は、100% → 影響が小さい	発生は、100% → 影響が小さい
6	既存サービスの提供	影響の範囲が小さい → 影響が小さい	発生は、100% → 影響が小さい	発生は、100% → 影響が小さい	発生は、100% → 影響が小さい	発生は、100% → 影響が小さい

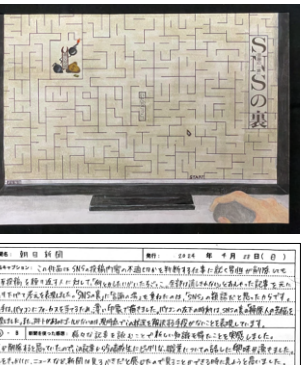
© 2025 菊永真美（大阪府立西成高等学校）／無断転載・使用を禁じます。引用の際は出典を明記してください。



朝日新聞2024年4月28日(日)

作業の Displacement による想定描写【マインドマップ】		発行年月日			
作業名	期日	期別	期日	期別	期日
1	10月10日	10月10日	10月10日	10月10日	10月10日
2	10月10日	10月10日	10月10日	10月10日	10月10日
3	10月10日	10月10日	10月10日	10月10日	10月10日
4	10月10日	10月10日	10月10日	10月10日	10月10日
5	10月10日	10月10日	10月10日	10月10日	10月10日
6	10月10日	10月10日	10月10日	10月10日	10月10日

© 2025 菊永真美（大阪府立西成高等学校）／無断転載・使用を禁じます。引用の際は出處を明記してください。



朝日新聞2024年5月28日(火)

[illegible]

© 2025 菊永真美 (大阪府立西成高等学校) / 無断転載・使用を禁じます。引用の際は出典を明記してください。



[illegible]

作品の D��partement による想定執筆率【マインドマップ】		発行年月日		
新刊名	新刊新聞	2025 年	5 月	17 日 金曜日
1	4-7 の 熊野節	記事の存在を確認 ある程度読んでみた	記事の存在を確認 ある程度読んでみた	記事の存在を確認 ある程度読んでみた
2	3-級市民	記事の存在を確認 ある程度読んでみた	記事の存在を確認 ある程度読んでみた	記事の存在を確認 ある程度読んでみた
3	あなだけ むすむす	記事の存在を確認 ある程度読んでみた	記事の存在を確認 ある程度読んでみた	記事の存在を確認 ある程度読んでみた
4				
5				
6				

作品の傾向について該当するものに○

① 記事の内容をほぼ真に受け取り考えを転写する
② 記事について自分の考えを述べる

[illegible]

作業の Deployment による整定書【マンママップ】							
作業名	毎日観劇	観劇年月日	マンマ	年	月	日	曜日
1. 広川と結ぶ	新作品の登場人物の 性格を学ぶ	新作品の登場人物の 性格を学ぶ	新作品の登場人物の 性格を学ぶ	新作品の登場人物の 性格を学ぶ	新作品の登場人物の 性格を学ぶ	新作品の登場人物の 性格を学ぶ	新作品の登場人物の 性格を学ぶ
2. 広川と結ぶ	新作品の登場人物の 性格を学ぶ	新作品の登場人物の 性格を学ぶ	新作品の登場人物の 性格を学ぶ	新作品の登場人物の 性格を学ぶ	新作品の登場人物の 性格を学ぶ	新作品の登場人物の 性格を学ぶ	新作品の登場人物の 性格を学ぶ
3. 結ぶ	新作品の登場人物の 性格を学ぶ	新作品の登場人物の 性格を学ぶ	新作品の登場人物の 性格を学ぶ	新作品の登場人物の 性格を学ぶ	新作品の登場人物の 性格を学ぶ	新作品の登場人物の 性格を学ぶ	新作品の登場人物の 性格を学ぶ
4. 結ぶ	新作品の登場人物の 性格を学ぶ	新作品の登場人物の 性格を学ぶ	新作品の登場人物の 性格を学ぶ	新作品の登場人物の 性格を学ぶ	新作品の登場人物の 性格を学ぶ	新作品の登場人物の 性格を学ぶ	新作品の登場人物の 性格を学ぶ
5. 結ぶ	新作品の登場人物の 性格を学ぶ	新作品の登場人物の 性格を学ぶ	新作品の登場人物の 性格を学ぶ	新作品の登場人物の 性格を学ぶ	新作品の登場人物の 性格を学ぶ	新作品の登場人物の 性格を学ぶ	新作品の登場人物の 性格を学ぶ
6. 結ぶ	新作品の登場人物の 性格を学ぶ	新作品の登場人物の 性格を学ぶ	新作品の登場人物の 性格を学ぶ	新作品の登場人物の 性格を学ぶ	新作品の登場人物の 性格を学ぶ	新作品の登場人物の 性格を学ぶ	新作品の登場人物の 性格を学ぶ

作品の傾向について該当する方へ○

A. 観劇の感想を記入して下さい(必ず記入)

甘くない現実
広がる格差
再び心に傷
地獄か天国か
記憶 思い出し
期待

作業のDeploymentによる想定描写【マインドマップ】					
作業名	日時・経過時間	実行担当者	実行年月	月	日
① 作業の準備 （作業の目的・作業の範囲・作業の担当者）	1月10日（月） 10時～11時 作業の担当者	担当者	2024年	1月	10日
② 作業の実行 （作業の進捗・作業の完了）	1月10日（月） 11時～12時 作業の担当者	担当者	2024年	1月	10日
③ 作業の完了 （作業の完了・作業の完了）	1月10日（月） 12時～13時 作業の担当者	担当者	2024年	1月	10日
④ 作業の完了 （作業の完了・作業の完了）	1月10日（月） 13時～14時 作業の担当者	担当者	2024年	1月	10日
⑤ 作業の完了 （作業の完了・作業の完了）	1月10日（月） 14時～15時 作業の担当者	担当者	2024年	1月	10日
⑥ 作業の完了 （作業の完了・作業の完了）	1月10日（月） 15時～16時 作業の担当者	担当者	2024年	1月	10日
⑦ 作業の完了 （作業の完了・作業の完了）	1月10日（月） 16時～17時 作業の担当者	担当者	2024年	1月	10日
⑧ 作業の完了 （作業の完了・作業の完了）	1月10日（月） 17時～18時 作業の担当者	担当者	2024年	1月	10日
⑨ 作業の完了 （作業の完了・作業の完了）	1月10日（月） 18時～19時 作業の担当者	担当者	2024年	1月	10日
⑩ 作業の完了 （作業の完了・作業の完了）	1月10日（月） 19時～20時 作業の担当者	担当者	2024年	1月	10日
⑪ 作業の完了 （作業の完了・作業の完了）	1月10日（月） 20時～21時 作業の担当者	担当者	2024年	1月	10日
⑫ 作業の完了 （作業の完了・作業の完了）	1月10日（月） 21時～22時 作業の担当者	担当者	2024年	1月	10日
⑬ 作業の完了 （作業の完了・作業の完了）	1月10日（月） 22時～23時 作業の担当者	担当者	2024年	1月	10日
⑭ 作業の完了 （作業の完了・作業の完了）	1月10日（月） 23時～24時 作業の担当者	担当者	2024年	1月	10日

作品の構成について説明するもの（①）

① 作業の準備（作業の目的・作業の範囲・作業の担当者）

② 作業の実行（作業の進捗・作業の完了）

③ 作業の完了（作業の完了・作業の完了）

④ 作業の完了（作業の完了・作業の完了）

⑤ 作業の完了（作業の完了・作業の完了）

⑥ 作業の完了（作業の完了・作業の完了）

⑦ 作業の完了（作業の完了・作業の完了）

⑧ 作業の完了（作業の完了・作業の完了）

⑨ 作業の完了（作業の完了・作業の完了）

⑩ 作業の完了（作業の完了・作業の完了）

⑪ 作業の完了（作業の完了・作業の完了）

⑫ 作業の完了（作業の完了・作業の完了）

⑬ 作業の完了（作業の完了・作業の完了）

⑭ 作業の完了（作業の完了・作業の完了）

[illegible]

期別番号	期別名称	発行年月日	発行日(月)	月	期日(月)
1	第1期(1月)	1月1日	1月1日	1	1月1日
2	第2期(2月)	2月1日	2月1日	2	2月1日
3	第3期(3月)	3月1日	3月1日	3	3月1日
4	第4期(4月)	4月1日	4月1日	4	4月1日
5	第5期(5月)	5月1日	5月1日	5	5月1日
6	第6期(6月)	6月1日	6月1日	6	6月1日
7	第7期(7月)	7月1日	7月1日	7	7月1日
8	第8期(8月)	8月1日	8月1日	8	8月1日
9	第9期(9月)	9月1日	9月1日	9	9月1日
10	第10期(10月)	10月1日	10月1日	10	10月1日
11	第11期(11月)	11月1日	11月1日	11	11月1日
12	第12期(12月)	12月1日	12月1日	12	12月1日

作業の完了により行われる作業の完了

① 記帳の作業を完了して行われる作業の完了

② 記帳の作業を完了して行われる作業の完了

[illegible]

毎日新聞2024年5月6日(月)

言葉のDéplacementによる想定描写【マインドマップ】				
新聞記事	年次所収	発行年月日	12月	1月
1. 新聞記事 「...」	「...」	2024年5月6日	12月	1月
2. 新聞記事 「...」	「...」	2024年5月6日	12月	1月
3. 新聞記事 「...」	「...」	2024年5月6日	12月	1月
4. 新聞記事 「...」	「...」	2024年5月6日	12月	1月
5. 新聞記事 「...」	「...」	2024年5月6日	12月	1月
6. 新聞記事 「...」	「...」	2024年5月6日	12月	1月



新聞記事	年次所収	発行年月日	12月	1月
1. 新聞記事 「...」	「...」	2024年5月6日	12月	1月
2. 新聞記事 「...」	「...」	2024年5月6日	12月	1月
3. 新聞記事 「...」	「...」	2024年5月6日	12月	1月
4. 新聞記事 「...」	「...」	2024年5月6日	12月	1月
5. 新聞記事 「...」	「...」	2024年5月6日	12月	1月
6. 新聞記事 「...」	「...」	2024年5月6日	12月	1月

© 2025 聖永興 (大阪府立西成高等学校) / 無断転載・使用を禁じます。引用の際は出典を明記してください。

2年【社会派絵画web版】



- 『社会派絵画』はここ数年マイナーチェンジを繰り返しながら第2学年で実施してきたが、これまでは紙の新聞で行ってきた。
- しかし今回は初の【web版】。昨年度から何度か新聞を使った授業を受けてきたので、今回はインターネットでのニュース検索による課題とした。

© 2025 聖永興 (大阪府立西成高等学校) / 無断転載・使用を禁じます。引用の際は出典を明記してください。

【社会派絵画web版】めあて



- 社会にあふれるさまざまな情報を正確かつ公正に読み解いてインプットし、自分の感じたこと考えたことを自分の表現（言葉、造形、行動など）で他者に伝える＝アウトプットできるようになる
- 主題生成のツールをこれまでの紙の新聞からインターネットに変えたことで、「エコーチェンバー」「フィルターバブル」「フェイクニュース」といったトラップへの対策を考えながら、モチーフを探していくことの難しさを体験し、判断力と問題解決能力を養う

© 2025 聖永興 (大阪府立西成高等学校) / 無断転載・使用を禁じます。引用の際は出典を明記してください。

制作手順説明のため、生徒に提示したスライドの一部

『社会派絵画』に挑む前に意識してほしいこと

- 「美術＝自己表現」というのは実は歴史が浅い。もともとは美術作品は写真の代わり、報道の代わりであり、世界史と美術とは切っても切れない関係にある。歴史上の人物や重大事件は須く絵画化して残されている。(例:社会の資料集)
- 我々は玉石混合のメディアの渦中で生活しているが、それらの取捨選択や真偽・善悪の判断はどの基準で採用している？
- 我々はどういう手段でどここのニュースソースから、何の基準でもって社会の動向を把握し、そして判断し考える基盤を置くのか。
- 最終的に、自ら発信できる人になってほしいし、それには責任も伴うことを自覚してほしい

© 2025 聖永興 (大阪府立西成高等学校) / 無断転載・使用を禁じます。引用の際は出典を明記してください。

制作手順説明のため、生徒に提示したスライドの一部

- 「ニュース」だと思って見てきたSNSやネットの配信記事は、よく考えると単なる「情報」である。([「ニュース」と「情報」の違い])
- 報道機関や新聞社によっても、同じ内容のニュースでも大きく取り上げる部分や切り口が全然違うことがある。
- ニュースだろうがネットだろうが自分で実際に見たもの以外の「情報」は全て伝え手の主観が入っていると考える。
- 「ニュース」は正確さがあると同時に、作り手の意図が必ず存在するので、裏にどんな人の意図があるか考える必要がある。
- 一人一人がSNSから様々な情報を得ることできる現代では、「情報」と「ニュース」のどちらであるか正確に読み解く力が必要。
- 「情報」に踊らされることによって、自分が被害を受けるだけでなく、その情報を拡散することによって他人に迷惑をかけることもある。
- この情報社会で正しい情報を知っていることは大事なことであり、自分の人生にも関わってくるかもしれない。

© 2025 聖永興 (大阪府立西成高等学校) / 無断転載・使用を禁じます。引用の際は出典を明記してください。



作業風景



© 2025 聖永興 (大阪府立西成高等学校) / 無断転載・使用を禁じます。引用の際は出典を明記してください。

WS記入の前に、生徒に提示したスライドの一部

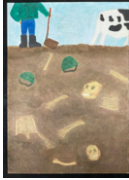
社会派絵画キャプション
本課題は絵の巧拙よりもこの段階が最も重要
この思考と考察が甘いと作品に説得力なし

記入のルール…
スペースの8割以上は書く。
視覚的に見て分かることを
書いても意味がない。
作品を見ただけでは
第3者には知り得ないことの
記述が良いキャプション。

※左側：絵面制作前に記入
右側：制作後に記入
※ニュースソースが
確かなものであること
※報道の役割を担うという
意識で構想を練ること

制作前

制作後



2年【社会派絵画
web版】作品紹介

『犬と猫がペットショップから消える日』
NHK NEWS WEB 2022年1月21日(木)



社会派絵画キャプション

タイトル：犬と猫がペットショップから消える日

制作前：この作品は、ペットショップで飼育されている動物たちの現状を表現するために制作された。動物たちの生活環境や飼育方法について、多くの疑問を抱き、その問題を社会に伝えることが目的である。

制作後：この作品は、動物たちの生活環境や飼育方法について、多くの疑問を抱き、その問題を社会に伝えることが目的である。動物たちの生活環境や飼育方法について、多くの疑問を抱き、その問題を社会に伝えることが目的である。

『511頭に続いて1万頭も…続く豚熱対応 県職員にも辛い作業』
朝日新聞デジタル 2023年9月1日



社会派絵画キャプション

タイトル：511頭に続いて1万頭も…続く豚熱対応 県職員にも辛い作業

制作前：この作品は、豚熱の蔓延とそれに伴う県職員の作業の辛さを表現するために制作された。豚熱の蔓延とそれに伴う県職員の作業の辛さを表現するために制作された。

制作後：この作品は、豚熱の蔓延とそれに伴う県職員の作業の辛さを表現するために制作された。豚熱の蔓延とそれに伴う県職員の作業の辛さを表現するために制作された。

『太陽フレア 今後大爆発は続くか…11年周期で太陽の活動は活性化 スーパーフレア発生で甚大な被害！？』
MBS NEWS 2024年5月14日(火)



社会派絵画キャプション

タイトル：太陽フレア 今後大爆発は続くか…11年周期で太陽の活動は活性化 スーパーフレア発生で甚大な被害！？

制作前：この作品は、太陽フレアの活動とそれに伴う被害の深刻さを表現するために制作された。太陽フレアの活動とそれに伴う被害の深刻さを表現するために制作された。

制作後：この作品は、太陽フレアの活動とそれに伴う被害の深刻さを表現するために制作された。太陽フレアの活動とそれに伴う被害の深刻さを表現するために制作された。

『AIの権利侵害 知的財産を守る法整備が必要だ』
読売新聞オンライン 2024年3月29日(金)



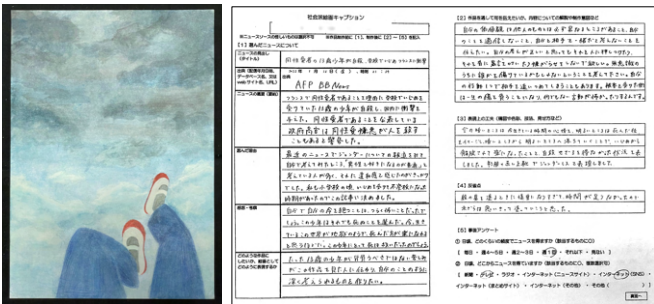
社会派絵画キャプション

タイトル：AIの権利侵害 知的財産を守る法整備が必要だ

制作前：この作品は、AIの権利侵害とそれに伴う知的財産の保護の重要性を表現するために制作された。AIの権利侵害とそれに伴う知的財産の保護の重要性を表現するために制作された。

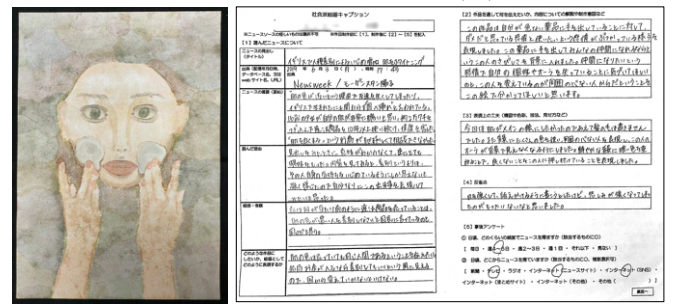
制作後：この作品は、AIの権利侵害とそれに伴う知的財産の保護の重要性を表現するために制作された。AIの権利侵害とそれに伴う知的財産の保護の重要性を表現するために制作された。

『同性愛者の13歳少年が自殺、学校でいじめ フランスに衝撃』
AFP BB News 2023年1月13日(金)



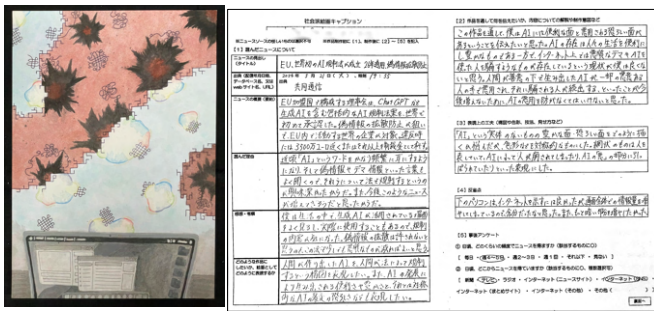
© 2025 菊永真美 (大阪府立西成高等学校) / 無断転載・使用を禁じます。引用の際は出典を明記してください。

『イギリスで人種差別によるいじめ増加 肌をホワイトニング』
Newsweek 2019年6月3日(月)



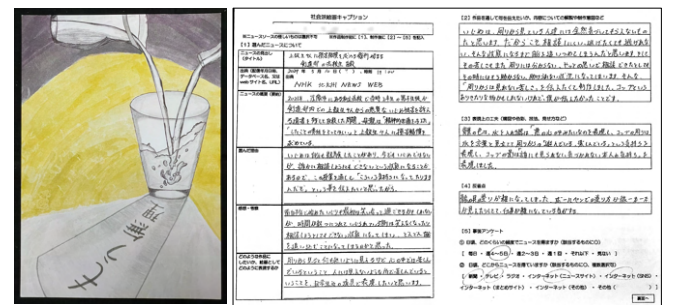
© 2025 菊永真美 (大阪府立西成高等学校) / 無断転載・使用を禁じます。引用の際は出典を明記してください。

『EU、世界初のAI規制法が成立 26年適用、偽情報拡散防止』
共同通信 2024年5月21日(火)



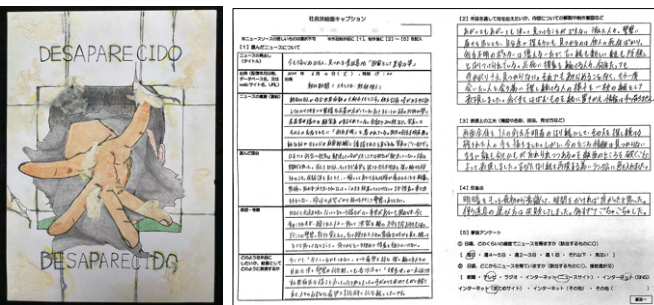
© 2025 菊永真美 (大阪府立西成高等学校) / 無断転載・使用を禁じます。引用の際は出典を明記してください。

『上級生 4 人に損害賠償を求める裁判始まる 剣道部の高校生自殺』
NHK北九州 NEWS WEB 2024年5月10日(金)



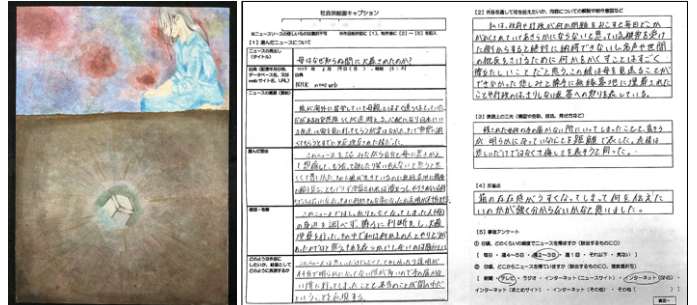
© 2025 菊永真美 (大阪府立西成高等学校) / 無断転載・使用を禁じます。引用の際は出典を明記してください。

『今も帰らぬ10万人、見つかる集団墓地「国家として異常な姿」』
朝日新聞デジタル 2024年6月4日(火)



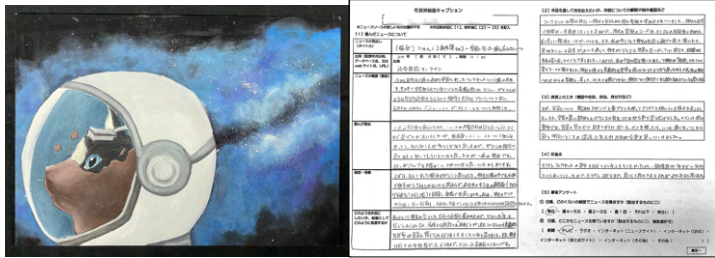
© 2025 菊永真美 (大阪府立西成高等学校) / 無断転載・使用を禁じます。引用の際は出典を明記してください。

『母はなぜ知らぬ間に火葬されたのか?』
NHK NEWS WEB 2024年6月19日(月)



© 2025 菊永真美 (大阪府立西成高等学校) / 無断転載・使用を禁じます。引用の際は出典を明記してください。

『「猫学」にゃんころ事件簿その2～宇宙に行った猫を忘れない～』
読賣新聞オンライン2 2024年5月14日(火)

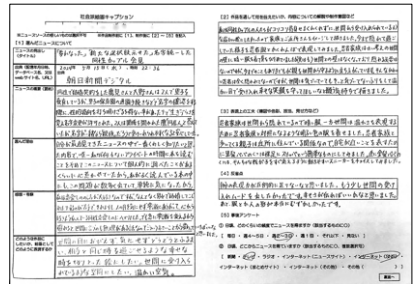


© 2025 菊永真美 (大阪府立西成高等学校) / 無断転載・使用を禁じます。引用の際は出典を明記してください。

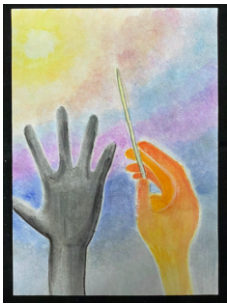
『「夢かった」「新たな選択肢示せた」
名字統一した同性カップル会見』
朝日新聞デジタル 2024年5月15日(水)



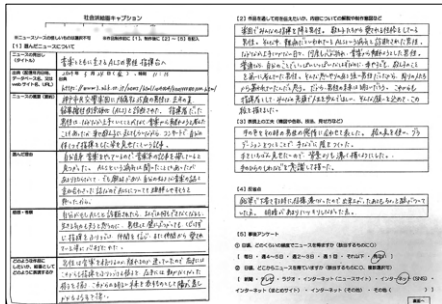
© 2025 菊永真美 (大阪府立西成高等学校) / 無断転載・使用を禁じます。引用の際は出典を明記してください。



『音楽とともに生きる ALSの男性指揮台へ』
NHK NEWS WEB 2024年5月24日(金)



© 2025 菊永真美 (大阪府立西成高等学校) / 無断転載・使用を禁じます。引用の際は出典を明記してください。



『アルテミス計画で日本人宇宙飛行士による月面探査が決定
有人と圧ローバーも提供「外交は発展につながる」とNASA長官』
IT media NEWS 2024年4月11日(木)



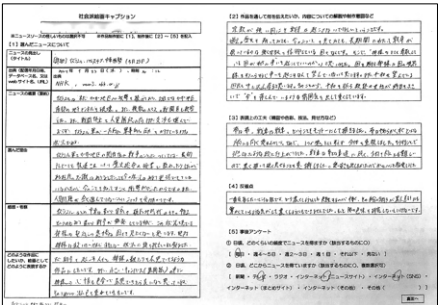
© 2025 菊永真美 (大阪府立西成高等学校) / 無断転載・使用を禁じます。引用の際は出典を明記してください。



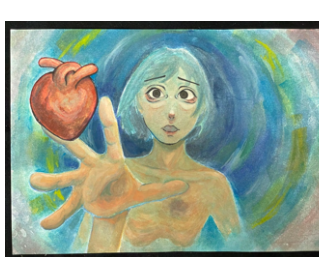
『「詳細」イスラエル・パレスチナ、中東情勢』
NHK NEWS WEB 2024年5月23日(木)



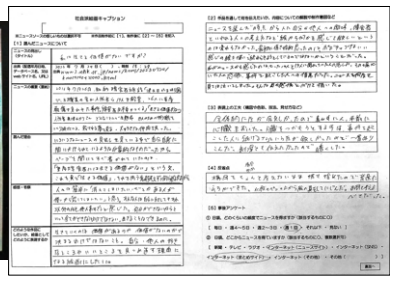
© 2025 菊永真美 (大阪府立西成高等学校) / 無断転載・使用を禁じます。引用の際は出典を明記してください。



『私は生きる価値がないですか？』
NHK NEWS WEB 2023年7月24日(月)



© 2025 菊永真美 (大阪府立西成高等学校) / 無断転載・使用を禁じます。引用の際は出典を明記してください。



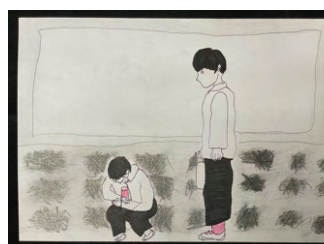
『あなたのこえはたからもの』
NHK NEWS WEB 2023年9月24日(月)



注目のポイント	作品概要
1. 作品名	『あなたのこえはたからもの』
2. 作者	西川 由紀
3. 制作年	2023年
4. 制作場所	大阪府立西成高等学校
5. 制作技法	油絵
6. 制作経緯	「あなたのこえはたからもの」というテーマで、自分自身の内面を表現するために制作された。制作過程で、自分自身の感情や考えを表現するために、様々な色や質感を用いた。
7. 制作意図	自分自身の内面を表現し、観る者に伝達することを目的とした。
8. 制作効果	観る者に強い印象を与え、自分自身の感情や考えを表現することに成功した。
9. 制作評価	制作過程で、自分自身の感情や考えを表現することに成功した。
10. 制作感想	制作過程で、自分自身の感情や考えを表現することに成功した。

© 2025 菊永真美 (大阪府立西成高等学校) / 無断転載・使用を禁じます。引用の際は出典を明記してください。

『小1でいじめ被害…「今度なんかあったら自分で解決してね」』
MBS NEWS 2024年4月24日(火)



注目のポイント	作品概要
1. 作品名	『小1でいじめ被害…「今度なんかあったら自分で解決してね」』
2. 作者	西川 由紀
3. 制作年	2024年
4. 制作場所	大阪府立西成高等学校
5. 制作技法	油絵
6. 制作経緯	「小1でいじめ被害…「今度なんかあったら自分で解決してね」」というテーマで、自分自身の経験や考えを表現するために制作された。制作過程で、自分自身の感情や考えを表現するために、様々な色や質感を用いた。
7. 制作意図	自分自身の経験や考えを表現し、観る者に伝達することを目的とした。
8. 制作効果	観る者に強い印象を与え、自分自身の感情や考えを表現することに成功した。
9. 制作評価	制作過程で、自分自身の感情や考えを表現することに成功した。
10. 制作感想	制作過程で、自分自身の感情や考えを表現することに成功した。

© 2025 菊永真美 (大阪府立西成高等学校) / 無断転載・使用を禁じます。引用の際は出典を明記してください。

『「人喰いクマ」は複数いた？秋田県で8人死傷した
「十和利山クマ襲撃事件」の真相』
AERA dot. 2023年11月26日(日)



注目のポイント	作品概要
1. 作品名	『「人喰いクマ」は複数いた？秋田県で8人死傷した「十和利山クマ襲撃事件」の真相』
2. 作者	西川 由紀
3. 制作年	2023年
4. 制作場所	大阪府立西成高等学校
5. 制作技法	油絵
6. 制作経緯	「「人喰いクマ」は複数いた？秋田県で8人死傷した「十和利山クマ襲撃事件」の真相」というテーマで、自分自身の経験や考えを表現するために制作された。制作過程で、自分自身の感情や考えを表現するために、様々な色や質感を用いた。
7. 制作意図	自分自身の経験や考えを表現し、観る者に伝達することを目的とした。
8. 制作効果	観る者に強い印象を与え、自分自身の感情や考えを表現することに成功した。
9. 制作評価	制作過程で、自分自身の感情や考えを表現することに成功した。
10. 制作感想	制作過程で、自分自身の感情や考えを表現することに成功した。

© 2025 菊永真美 (大阪府立西成高等学校) / 無断転載・使用を禁じます。引用の際は出典を明記してください。

1年【美学：美術から社会問題を考える②】
『排除アート』は是か非か？

美術と生活、美術と人間との関わりを学び、
ディベートから発表まで行う



© 2025 菊永真美 (大阪府立西成高等学校) / 無断転載・使用を禁じます。引用の際は出典を明記してください。

配布資料 (神戸新聞2021/8/23,2021/8/28,2022/10/19)



© 2025 菊永真美 (大阪府立西成高等学校) / 無断転載・使用を禁じます。引用の際は出典を明記してください。

ワークシート記入タイムテーブル
(授業は2時間連続)

- 前半10分 説明
 15分 ■項目1,2(新聞・Chromebook)
 10分 ■項目3,4,5(新聞・Chromebook)
 5分 ■項目6結論、6①
 5分 班決め、役割分担
- 後半20分 班別協議 ■項目6②-1,2
 12分 班別発表
 8分 ■項目6③
 10分 共有・まとめ

© 2025 菊永真美 (大阪府立西成高等学校) / 無断転載・使用を禁じます。引用の際は出典を明記してください。

時間	内容
11:10	前半10分 説明
11:20	15分 ■項目1,2(新聞・Chromebook)
11:25	10分 ■項目3,4,5(新聞・Chromebook)
11:30	5分 ■項目6結論、6①
11:35	5分 班決め、役割分担
11:40	後半20分 班別協議 ■項目6②-1,2
11:50	12分 班別発表
12:00	8分 ■項目6③
12:10	10分 共有・まとめ

新聞から社会問題を考える②「賛成派・反対派」は意見を書け

1. 問題文：新聞記事を読み、意見を書きなさい。	2. 問題文：新聞記事を読み、意見を書きなさい。
3. 問題文：新聞記事を読み、意見を書きなさい。	3. 問題文：新聞記事を読み、意見を書きなさい。
4. 問題文：新聞記事を読み、意見を書きなさい。	4. 問題文：新聞記事を読み、意見を書きなさい。
5. 問題文：新聞記事を読み、意見を書きなさい。	5. 問題文：新聞記事を読み、意見を書きなさい。
6. 問題文：新聞記事を読み、意見を書きなさい。	6. 問題文：新聞記事を読み、意見を書きなさい。
7. 問題文：新聞記事を読み、意見を書きなさい。	7. 問題文：新聞記事を読み、意見を書きなさい。
8. 問題文：新聞記事を読み、意見を書きなさい。	8. 問題文：新聞記事を読み、意見を書きなさい。
9. 問題文：新聞記事を読み、意見を書きなさい。	9. 問題文：新聞記事を読み、意見を書きなさい。
10. 問題文：新聞記事を読み、意見を書きなさい。	10. 問題文：新聞記事を読み、意見を書きなさい。

賛成派
反対派

新聞から社会問題を考える②「賛成派・反対派」は意見を書け

1. 問題文：新聞記事を読み、意見を書きなさい。	2. 問題文：新聞記事を読み、意見を書きなさい。
3. 問題文：新聞記事を読み、意見を書きなさい。	3. 問題文：新聞記事を読み、意見を書きなさい。
4. 問題文：新聞記事を読み、意見を書きなさい。	4. 問題文：新聞記事を読み、意見を書きなさい。
5. 問題文：新聞記事を読み、意見を書きなさい。	5. 問題文：新聞記事を読み、意見を書きなさい。
6. 問題文：新聞記事を読み、意見を書きなさい。	6. 問題文：新聞記事を読み、意見を書きなさい。
7. 問題文：新聞記事を読み、意見を書きなさい。	7. 問題文：新聞記事を読み、意見を書きなさい。
8. 問題文：新聞記事を読み、意見を書きなさい。	8. 問題文：新聞記事を読み、意見を書きなさい。
9. 問題文：新聞記事を読み、意見を書きなさい。	9. 問題文：新聞記事を読み、意見を書きなさい。
10. 問題文：新聞記事を読み、意見を書きなさい。	10. 問題文：新聞記事を読み、意見を書きなさい。

班別協議手順

- ① 班員1人ずつ自分の考えを述べる
 - ② 班内で、賛成派・反対派それぞれ意見交換する
- ↓↓↓
- 発表『班での結論は？』
『結論の理由』
『アートの果たす役割とは？』



© 2025 聖永真実 (大阪府立西成高等学校) / 無断転載・使用を禁じます。引用の際は出典を明記してください。

班別協議



発表風景



分析と考察

アンケート集計

- ① 新聞購読について
- ② 日常生活でニュースに触れる頻度と媒体
- ③ 本作品で選んだニュース
- ④ 興味のあるニュース
- ⑤ 自分から発信するとしたら
- ⑥ 『言葉』と『表現』の関係
- ⑦ 美術でNIE授業を受けて

アンケート1年



© 2025 聖永真実 (大阪府立西成高等学校) / 無断転載・使用を禁じます。引用の際は出典を明記してください。

© 2025 聖永真実 (大阪府立西成高等学校) / 無断転載・使用を禁じます。引用の際は出典を明記してください。

R6 (2024) 75 期 1 年「言葉のデバズマン」WS アンケート

1-2 38 名 新聞購読 4/38

作品タイプ

A 記事の内容について考えを表現する 13 内、絵画作品としての高評価 4 (31%)

B 言葉を自己表現のツールとして使う 24 内、絵画作品としての高評価 9 (38%)

①作品で使った言葉はどの記事から取ったか

社会	政治	生活	経済	国際	芸術文化	スポーツ芸能	教育	社説・論評・コラム	その他
17	8	4	4	6	4	6	4	1	2 自然・研究

②日頃、ニュースを得る媒体は？

新聞	テレビ	ラジオ	インターネット (ニュースサイト)	インターネット (その他)	インターネット (SNS)	その他
1	27	1	16	8	21	0

③日頃、興味を持っているニュース、よく読むニュース

時事政治	社会	政治	経済	文化	国際	科学	健康	芸術	スポーツ・芸能	教育	環境	IT・デジタル	その他
5	1	6	1	1	2	2	1	0	0	0	3	0	0

④あなたが『心に残る言葉』に出会うのはどこから？

新聞	テレビ	ラジオ	本	インターネット	SNS	YouTube	動画配信サービス	映画・アニメ	音楽	友人・知人	その他
4	3	0	12	8	13	1	0	0	1	2	1 戦争

© 2025 聖永興業 (大阪府立西成高等学校) / 無断転載・使用を禁じます。引用の際は出典を明記してください。

R6 (2024) 75 期 1 年「言葉のデバズマン」WS アンケート

1-3、7 26 名 新聞購読 4/26

作品タイプ

A 記事の内容について考えを表現する 5 内、絵画作品としての高評価 3 (60%)

B 言葉を自己表現のツールとして使う 21 内、絵画作品としての高評価 13 (62%)

①作品で使った言葉はどの記事から取ったか

社会	政治	生活	経済	国際	芸術文化	スポーツ芸能	教育	社説・論評・コラム	その他
16	10	3	6	10	4	10	2	1	1 イベント告知

②日頃、ニュースを得る媒体は？

新聞	テレビ	ラジオ	インターネット (ニュースサイト)	インターネット (その他)	インターネット (SNS)	その他
1	19	1	14	8	11	0

③日頃、興味を持っているニュース、よく読むニュース

時事政治	社会	政治	経済	文化	国際	科学	健康	芸術	スポーツ・芸能	教育	環境	IT・デジタル	その他
2	2	3	0	0	0	2	1	1	1	2	0	0	8

④あなたが『心に残る言葉』に出会うのはどこから？

新聞	テレビ	ラジオ	本	インターネット	SNS	YouTube	動画配信サービス	映画・アニメ	音楽	友人・知人	その他
2	5	0	7	9	5	1	1	0	0	2	0

© 2025 聖永興業 (大阪府立西成高等学校) / 無断転載・使用を禁じます。引用の際は出典を明記してください。

R6 (2024) 75 期 1 年「言葉のデバズマン」WS アンケート

1-1、5、6 39 名 新聞購読 4/39

作品タイプ

A 記事の内容について考えを表現する 14 内、絵画作品としての高評価 6 (43%)

B 言葉を自己表現のツールとして使う 25 内、絵画作品としての高評価 11 (44%)

①作品で使った言葉はどの記事から取ったか

社会	政治	生活	経済	国際	芸術文化	スポーツ芸能	教育	社説・論評・コラム	その他
21	7	5	3	8	4	11	2	2	1 インタビュー

②日頃、ニュースを得る媒体は？

新聞	テレビ	ラジオ	インターネット (ニュースサイト)	インターネット (その他)	インターネット (SNS)	その他
1	25	2	19	7	24	0

③日頃、興味を持っているニュース、よく読むニュース

時事政治	社会	政治	経済	文化	国際	科学	健康	芸術	スポーツ・芸能	教育	環境	IT・デジタル	その他
4	3	5	1	0	0	3	3	0	1	2	0	1	1

④あなたが『心に残る言葉』に出会うのはどこから？

新聞	テレビ	ラジオ	本	インターネット	SNS	YouTube	動画配信サービス	映画・アニメ	音楽	友人・知人	その他
2	6	1	16	8	10	2	0	4	3	3	0

© 2025 聖永興業 (大阪府立西成高等学校) / 無断転載・使用を禁じます。引用の際は出典を明記してください。

1年アンケート全体集計

R6 (2024) 75 期 1 年「言葉のデバズマン」WS アンケート

1 年全 103 名 新聞購読 12/103 (12%)

作品タイプ

A 記事の内容について考えを表現する 32 (31%) 内、絵画作品としての高評価 13 (41%)

B 言葉を自己表現のツールとして使う 70 (69%) 内、絵画作品としての高評価 33 (47%)

①作品で使った言葉はどの記事から取ったか

社会	政治	生活	経済	国際	芸術文化	スポーツ芸能	教育	社説・論評・コラム	その他
54 (53%)	25 (24%)	12 (12%)	13 (13%)	24 (23%)	12 (12%)	27 (26%)	8 (8%)	4 (4%)	4 (4%)

②日頃、ニュースを得る媒体は？

新聞	テレビ	ラジオ	インターネット (ニュースサイト)	インターネット (その他)	インターネット (SNS)	その他
3 (3%)	66 (64%)	4 (4%)	49 (48%)	23 (22%)	56 (54%)	0 (0%)

③日頃、興味を持っているニュース、よく読むニュース

時事政治	社会	政治	経済	文化	国際	科学	健康	芸術	スポーツ・芸能	教育	環境	IT・デジタル	その他
11 (11%)	6 (6%)	14 (14%)	2 (2%)	1 (1%)	2 (2%)	7 (7%)	5 (5%)	1 (1%)	2 (2%)	28 (27%)	21 (20%)	1 (1%)	1 (1%)

④あなたが『心に残る言葉』に出会うのはどこから？

新聞	テレビ	ラジオ	本	インターネット	SNS	YouTube	動画配信サービス	映画・アニメ	音楽	友人・知人	その他
8 (8%)	14 (14%)	1 (1%)	35 (32%)	25 (24%)	28 (27%)	4 (4%)	1 (1%)	4 (4%)	4 (4%)	7 (7%)	1 (1%)

© 2025 聖永興業 (大阪府立西成高等学校) / 無断転載・使用を禁じます。引用の際は出典を明記してください。

アンケート2年

R6 (2024) 74 期 2 年「社会派結語」WS アンケート

2-2、3 25 名 私大文系クラス 新聞購読 4/25

①「ニュース」を見る頻度

毎日	週4～5日	週2～3日	週1	それ以下	見ない	無回答
7	3	6	4	1	1	3

②「ニュース」を得る媒体は？ (複数選択可)

新聞	テレビ	ラジオ	インターネット (ニュースサイト)	インターネット (その他)	インターネット (SNS)	その他
0	19	0	9	19	3	0

③今週読んだニュース (複数選択可)

政治	経済	社会	文化	生活	国際	科学	健康	芸術	スポーツ・芸能	教育	環境	IT・デジタル	その他
7	2	20	3	4	1	1	1	1	1	1	1	1	1

④今週読んだニュース (複数選択可)

政治	経済	社会	文化	生活	国際	科学	健康	芸術	スポーツ・芸能	教育	環境	IT・デジタル	その他
7	2	20	3	4	1	1	1	1	1	1	1	1	1

© 2025 聖永興業 (大阪府立西成高等学校) / 無断転載・使用を禁じます。引用の際は出典を明記してください。



**NIE21
OSAKA**
Newspaper for Education
06-011-41920

**NIE21
OSAKA**
Newspaper in Education
NIE21



**NIE21
OSAKA**
Newspaper In Education
教育新聞



**NIE21
OSAKA**
Newspaper In Education
教育に新聞を

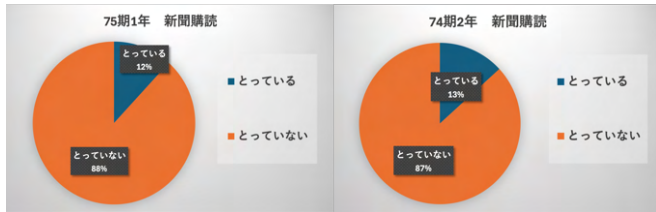


**NIE21
OSAKA**
Newspaper in Education
教育に新聞を

© 2025 菊永真美（大阪府立西成高等学校）／無断転載・使用を禁じます。引用の際は出典を明記してください。

5) 各メディアのニュース・メニュー (Chromebook によるインターネット検索、複数選択可)									
各メディア	テレビ	ラジオ	新聞紙	出社紙	ポータルサイト	公的機関等	一般情報サイト	その他 (7/24 付録参照)	合計
産経、朝日、読売、毎日	27 (30%)	31 (34%)	7 (8%)	6 (7%)	12 (13%)	3 (3%)	3 (3%)	2 (1%)	94 (100%)
	NHK、テレビ朝日、MBS、めざまし8、FNNプライム、HTB北海道、東海テレビ	RELATES、JJA、APP、川内、東洋経済、読売東北	ASAHI、NEWS、東洋	YAHOO ニュース	Jinsei、日本経済、読売新聞、保健病センター	ウオッチャーズ so、SOCCER KING、Jmedia ニュース			
6) 自分から探せるもの(14)									
A ニュース	37 (41%)	芸能関係、今の新技术、スポーツ(複数)、芸能(複数)、政治、国際情勢、音楽(複数)、水泳、戦争、社会問題、サッカー選手に移籍関係、経済関係、日本経済、海外事情 経済(複数)、旅行、不動産、健康(若者でもかなりよく見ていく)、食文化、内閣、国際情勢、テロ、戦争、自然災害、環境問題(複数)、農林水産、流行、スポーツ、芸能スクープ(複数)、音楽、文化、シンデレラ、政治、スポーツ(複数)、災害、宇宙開発、日常の身近なニュース、エンタメ、犯罪事件、地球温暖化、類による被害、論評、教育、動物、子ども、文化芸術							
B 情報	36 (40%)	高校生活について、青春で過ごす場所や遊びについて、動物、季節の豆知識、健康、進学、就職について科学的に分析、日常の生活のことなど面白くも、日本の伝統文化、料理、スポーツおももの情報、行事、音楽やMVの考察、心理学、美術(古典)、スポーツの過去 UNICEF、世界のイベント情報、アーティストの魅力について、マニア向け航空情報、科学、スポーツの魅力、従前からない宇宙の秘密、ゲーム情報、音楽情報について知りたがる、音楽について知りたがる、政治的な情報、経済について気になる豆知識、音楽が人に与える影響、花火などのイベント情報、世の中で話題になっているような面白い内容、音楽・映画、季節の美しさ、自然の美しさ、自然の気象、若者の流行、豆知識(複数)、健康、進路問題等を扱った視点で良書							
C その他	7 (8%)	あまり深く考えず、喜べる、笑える内容、みんなが気になった話題 社会に関与する内容、人々を笑わせることができるもの、面白い情報等を発信しすぎた内容 なぜ犯罪が起きているのか、自分が疑問に思ったことを調べ、みんなが争いになるような平和なもの、コナン的な、心が通るものや楽しい内容							
D 無回答	11 (12%)								

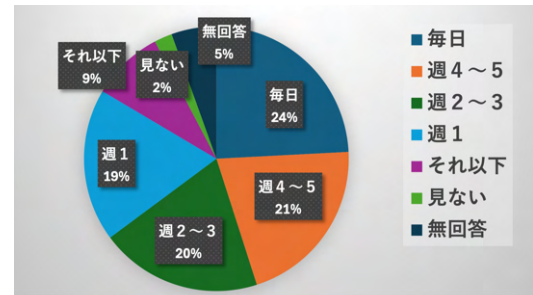
① 新聞購読について



学年であまり変化がなかった。2年生は1年間、美術の授業でNIEをやってきたが、各家庭での新聞購読にはあまり影響がみられない。

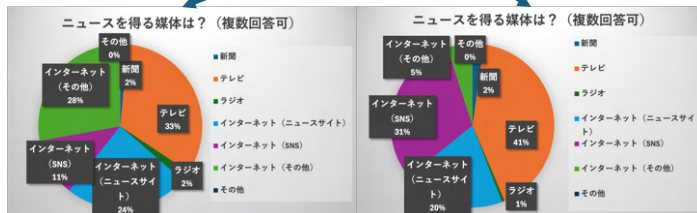
© 2025 聖永興 (大阪府立西成高等学校) / 無断転載・使用を禁じます。引用の際は出典を明記してください。

② 日常生活でニュースに触れる頻度



© 2025 聖永興 (大阪府立西成高等学校) / 無断転載・使用を禁じます。引用の際は出典を明記してください。

日頃、ニュースを得ている媒体は？ (左：1年、右：2年)



© 2025 聖永興 (大阪府立西成高等学校) / 無断転載・使用を禁じます。引用の際は出典を明記してください。

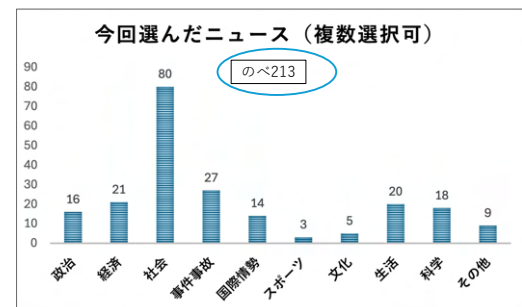
- ・ニュースに触れる頻度は毎日か週4～5日が半数近くを占める。メディアは、1年→2年でインターネットの割合は5割→6割の増加であるが、注目すべきはその内訳。SNSの割合が1割→3割と約3倍に増加している。
- ・つまり、SNSで流れてくる情報を「ニュース」と捉えているのではないかとこの危惧が浮き彫りになる。だから、「ほぼ毎日ニュースに触れている！」と喜ぶのは早計。SNSがすでに、彼らにとって信頼できるメディアとなっており、情報のバックボーンをあまり気にしていないのだろう。公共性のない個人発信のゴシップも、同じ「ニュース」としてとらえ、棲み分けしていないことの表れであろう。

© 2025 聖永興 (大阪府立西成高等学校) / 無断転載・使用を禁じます。引用の際は出典を明記してください。

- ・2年生の記述アンケートで特徴的だったのが、発信したいニュースとして「みんなが驚くもの」「誰も知らない闇を暴く」ことに対する憧れがみられたことは、非常にSNS的な現象だ。911テロも湾岸戦争もTikTokで知ったという生徒もいて、どれも同じテンションで入ってくるため、正確性と時系列という意識は低い。過去の重大事件を知るきっかけになるのだから、それはそれという考え方もあるが…。
- ・過去のニュースを断片的または突発的に得ること自体について否定はしないが、より衝撃的にセンセーショナルに味付けされたものを見て「ニュースを見た」気分になっている疑惑が滲み出された回答であった。

© 2025 聖永興 (大阪府立西成高等学校) / 無断転載・使用を禁じます。引用の際は出典を明記してください。

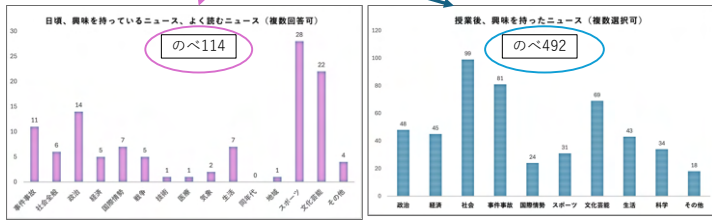
③ 2年(約90名)：作品で選んだニュースについて



© 2025 聖永興 (大阪府立西成高等学校) / 無断転載・使用を禁じます。引用の際は出典を明記してください。

④ 興味のあるニュース（NIE前後比較）

左：1年 約110名
右：2年 約90名



© 2025 堺永真実（大阪府立西成高等学校）／無断転載・使用を禁じます。引用の際は出典を明記してください。

・1年→2年で増加:社会全般、事件事故、政治

・1年→2年ともに多めであまり変わらない:スポーツ

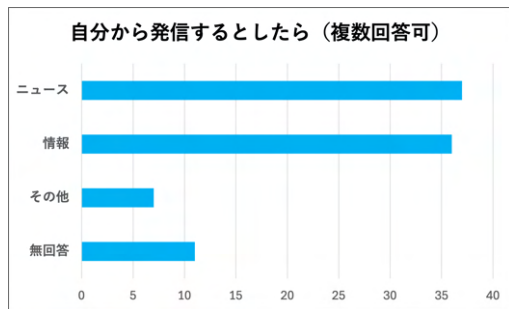
・たった1年の違いで、「社会に関わろう」という意識が高まっていることが分かる。18歳成人の影響で、選挙を意識し始めるためか。

・④より、興味のあるニュース1年(約110名)でのべ114項目、2年(約90名)でのべ492件となり、一人当たりの件数が1年では1件、2年では5.5件に増加している。このことは、2年間NIE授業を受けた成果と考えられるのではないかと(生徒の進路志望など他の要因も絡むとはいえ)。

・③→④より、2年では、作品制作のために選んだニュースのべ213→授業後興味を持ったニュースのべ492と倍以上増であった。

© 2025 堺永真実（大阪府立西成高等学校）／無断転載・使用を禁じます。引用の際は出典を明記してください。

⑤ 2年：自分から発信するとしたら



© 2025 堺永真実（大阪府立西成高等学校）／無断転載・使用を禁じます。引用の際は出典を明記してください。

・「ニュース」を選択しながらも、記述を読むと「情報」を書いている。

・視野が狭い。部活、近場の遊び情報など。また、「行事」カテゴリを誤認し、伝統文化や季節の年中行事ではなく、学校行事ととらえた回答が目立った。

・次に多いのが「誰も知らないコアな情報」「社会の闇の部分暴露」。新聞など大手メディアを疑う一方で、SNSで流れてくるゴシップこそ「裏情報」として信じ込む傾向が見られる。普段から新聞を大して読んでもいないのに、なぜ？

© 2025 堺永真実（大阪府立西成高等学校）／無断転載・使用を禁じます。引用の際は出典を明記してください。

・ある種真面目さが出たのか、今の自分のリアルな取材力で周囲の友人などに発信できることを書いている。いまの自分がメディアを背負って世に発信するというイメージはできていない。意識が低いのか、設問に対する想像がただ足りていないのかこのアンケートだけでは計りかねる。あるいは、自分が大きなことをするという想像ができないということの現れともとれる。

・「あったかほのぼの」「笑えるもの」「誰も傷つかない」ニュースも多数。これは、SNSの影響が大きいと思われる。失敗したら叩かれる、炎上するのを知っているからだ。

© 2025 堺永真実（大阪府立西成高等学校）／無断転載・使用を禁じます。引用の際は出典を明記してください。

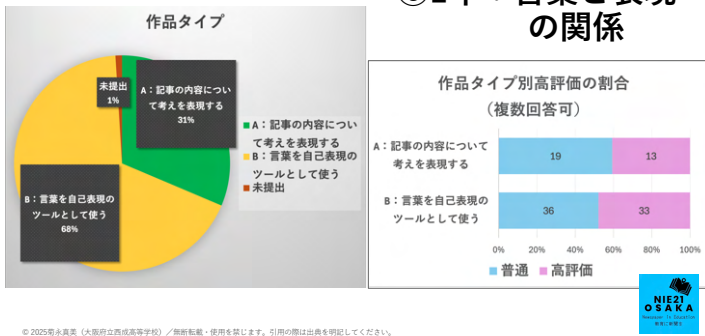
・結局は、家で親が新聞を読んでいる姿を見るのが減っているということでは。かつて新聞購読が多数派だった世代は、大人になればいずれ社会に目を向け政治経済を知るとい風潮があっただろうが、今の生徒やその親世代はそんな気持ちはあるのだろうか。

・ニュースを得るとしたら、テレビという生徒は多かった。しかしテレビ局はスポンサーありき。たくさんの人が見る番組を作らねばならないから、全部が全部ではないがゴシップ的なものが増える。それらを見て育った世代が親になりそれが当たり前になってしまった。これがまさに、メディアのあり方の危機であることに気付いていない。

・しかしアンケートの記述からは、本気でどうでもいいというのではなく、社会に関心を向ける人でありたいと思っていることは端々から感じられる。

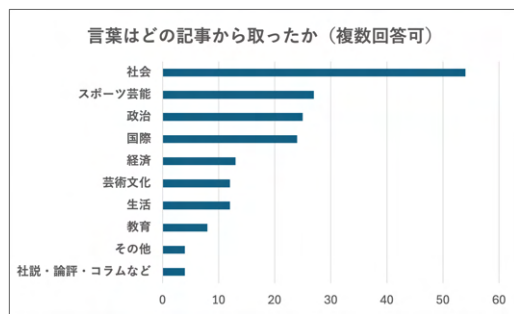
© 2025 堺永真実（大阪府立西成高等学校）／無断転載・使用を禁じます。引用の際は出典を明記してください。

⑥1年：言葉と表現の関係

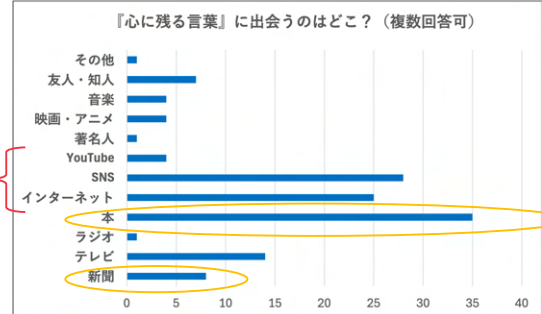


- 作品タイプは、難易度の高いA【記事の内容について表現】よりも、取り組みやすいB【言葉を自己表現のツールとして使う】のほうが作品数が多かった（ $2A < B$ ）。1年生でNIE授業として初めての課題だったので、これは予想の範囲内。
- しかし、高難度のAに挑んだ生徒も作品としての完成度が高く、高評価割合は半数近くになり、記事を深く読み込める生徒(Aタイプ選択)は、アウトプットの表現力も高いということが分かる。
- しかし、難易度の低いBがダメという意味ではない。制作中の生徒の反応を見ていると、自分の心を代弁してもらえ言葉との出会いや新しい組み合わせそのものを楽しんでいるのはBタイプ選択の生徒であった。

1年：作品の言葉はどの記事から取ったか



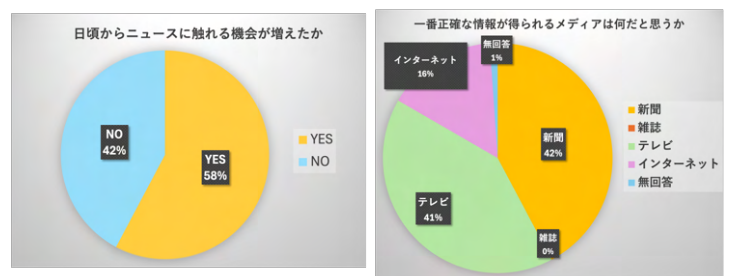
1年：心に残る『言葉』と出会う媒体について



- 心に残る言葉と出会う媒体について、内訳は、紙媒体（新聞8+本35）=43、インターネット（webサイト25+SNS28+YouTube4）=57、友人との会話7、音楽4、アニメ4と続く。インターネットの方が多いものの、紙媒体も決して少なくない。

- このことは、若い世代も活字を読むことを大切にしているというこの表れではないだろうか。

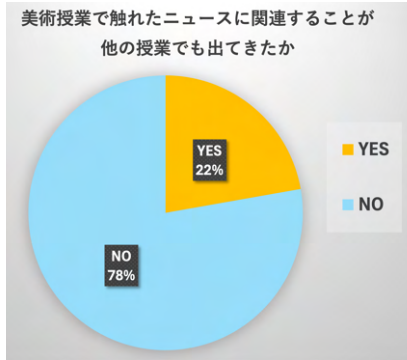
2年間、美術でNIE授業を受けた生徒の事後アンケート結果（全体）



他教科との関連 (生徒の実感)

実際には、他教科でも扱
われている内容を新聞記
事で読んでいるのだが…

つながりを実感してい
るとは言い難い現状
↓
この問題については次頁



© 2025 菊永真美 (大阪府立西成高等学校) / 無断転載・使用を禁じます。引用の際は出典を明記してください。

クラス別で見ると、こんなにも違う

R6 (2024) 74期2年NIE事後アンケート
2-2, 3
24名

①1年生～2年生にかけてニュースに触れる授業を受けて、日頃からニュースに触れる機会が増えたか？

YES
17 (71%)
NO
7 (30%)

②一番注目や情報が増えるメディアはどれだと思うか？

新聞
8 (33%)
雑誌
0 (0%)
テレビ
12 (50%)
インターネット
4 (17%)

③美術の授業で触れたニュースに関連することが他の授業でも出てきたか？

YES
NO
0 (0%)
24 (100%)

④美術の授業で触れたニュースについて、その後実際にしたことがあったか？

YES
NO
6 (25%)
18 (75%)
母 (母親)、友達、友人

⑤美術の授業で触れたニュースについて、後日改めて調べたり、情報を得たりしたか？

YES
NO
7 (30%)
17 (71%)

R6 (2024) 74期2年74期2年NIE事後アンケート
2-4, 5
26名

①1年生～2年生にかけてニュースに触れる授業を受けて、日頃からニュースに触れる機会が増えたか？

YES
21 (81%)
NO
5 (19%)

②一番注目や情報が増えるメディアはどれだと思うか？

新聞
12 (46%)
雑誌
0 (0%)
テレビ
10 (38%)
インターネット
3 (12%)

③美術の授業で触れたニュースに関連することが他の授業でも出てきたか？

YES
NO
13 (50%)
13 (50%)
世界史、英語、地理国語、現代英語、英語、保健体育、美術

④美術の授業で触れたニュースについて、その後実際にしたことがあったか？

YES
NO
13 (50%)
13 (50%)
家族 (両親)、友達、友人 (複数)

⑤美術の授業で触れたニュースについて、後日改めて調べたり、情報を得たりしたか？

YES
NO
8 (31%)
18 (69%)

© 2025 菊永真美 (大阪府立西成高等学校) / 無断転載・使用を禁じます。引用の際は出典を明記してください。

美術科アンケートからの考察： 学習に対する意欲・学力との関連

- ①の項目について、学力程度に関わらず、いずれのクラスもYESが高いのはNIEが有意義であったことを示しており、目指す生徒像に近付いたということがわかる。
- ③の項目について、右側の学力高めクラスでは約半数が他教科との関連に気付き、他クラスでは0と、同じ内容のNIE授業、同じ内容・担当者による各教科の授業を受けているにもかかわらず、クラス間で異なる結果となった。
- ④の項目についてもクラス間に差が見られた。学力高めクラスは、約半数が家族や友人間でニュースを話題にしている。医療看護系クラスも、この項目でYESが半数あった。話題にするということは、それなりの情報量や意見がないとできない。
- ニュースを読めるから学習意欲が高く学力も高いのか、学力が高いからニュースが読めるのか分らないが、学力が高い子がニュースに興味がある割合が高いということは、普段からニュースに触れている子が学力が高いということになる。
- このことから、同じことをしても教育的効果を底上げするためには、**ニュースを読めること、新聞を読めることが影響している**ことがわかる。

© 2025 菊永真美 (大阪府立西成高等学校) / 無断転載・使用を禁じます。引用の際は出典を明記してください。



感想欄より一部紹介

© 2025 菊永真美 (大阪府立西成高等学校) / 無断転載・使用を禁じます。

新聞を使ったことについて

※新聞を使うことによって自分の中の引き出しにはない新たな言葉から絵の創造力を広げることができたり、新しい考えが身についた。※普段全然新聞を読まないから、正直数学くらい頭を使った。※新聞を作っている人はすごい言葉をたくさん知ってるんだなと思いました。※新聞は短い言葉でインパクトを与えるのがとてもすごいなと思いました。作品ではいつもの5倍くらい刺激的な表現ができた。※新聞の見出しは、その言葉を見ただけで内容が気になるような言葉だから、説得力があって絵の力が増すし、フォントや配置で表現の仕方や自分の思いや考えが変わっていくのが面白かった。※どれも自分の作品に使いたかったです。新聞のおかげで新しい発想が生まれて、楽しく描けて面白かったです。※今回新聞を使って、こんなに素敵な言葉があるのかと、心が動かされて楽しかった。頭の中で色々な想像が膨らんだり考えさせられるものがあったりして、自分の中で成長できたと思う。※一つの新聞だけで、こんなにも心に残るような言葉がありとても驚いた。これからは読んでみようと思った。言葉から想像して絵を描くのが思っていた以上に楽しくて、もう一度やってみようと思った。※沢山の言葉から探すのはとても難しかったけど、新聞を読むのは楽しかった。

© 2025 菊永真美 (大阪府立西成高等学校) / 無断転載・使用を禁じます。引用の際は出典を明記してください。

言葉について

※自分の知ってる言葉だけじゃここまでの絵を完成できなかっただろうなと思いました。すごく楽しかったです。※新聞の中にも色々なジャンルの記事があって、自分の心に残る言葉を探すのに不自由しなかった。※自分の意思に合った言葉を探すのも、特定の言葉から自分の考えを深めるのも、すごく楽しく、描いていて楽しかったです!! ※普通に絵を描くだけよりも難しいと感じたけど、言葉との関連性を考えながら描くことは自分で考えるきっかけになって楽しかった。※自分が魅力的だと思った言葉の意味が、記事を読むことで、より作品に使いたいと思った。言葉の力はすごく大きくて、素敵なものだと改めて分かった。※普段なかなか触れない言葉にたくさん出会えたので、面白いと思いました。新聞から探すことで自分の気持ちをうまく表現できたり、新たな考えが浮かんだりして、良い作品ができました。

© 2025 菊永真美 (大阪府立西成高等学校) / 無断転載・使用を禁じます。引用の際は出典を明記してください。

表現について



*言葉を使って自分の考えや思いを表現するのって難しくて、言葉を台無しにしそうという恐怖もありました。
*日々見ている文字もこんなに美しく、心に響くのかと思った。
*新聞を読んでいたらアイデアがどんどん湧いてきました。記事から発想を広げていくことで、自分自身の表現を引き出せると思いました。
*自分の考えが広がったと思いました。この記事を選んだ理由や、どう表現するかを考えることは大切なことだと思います。
*色々な言葉に触れたことがきっかけで、自分が普段描かないトピックにも挑戦することができて楽しかった。
*新聞の言葉から描きたいイメージがすぐ浮かんできました。見出しの背景が黒くなっていたり、「」がついていたたりしたもの、絵と組み合わせさせて表現に生かせました。
*言葉一つに気持ちを込めて表現ができることを発見し、言葉は面白いものだと感じた。

© 2025 菊永真美 (大阪府立西成高等学校) / 無断転載・使用を禁じます。引用の際は出典を明記してください。

紙の新聞とWEBの両方でNIEをやってみて

© 2025 菊永真美 (大阪府立西成高等学校) / 無断転載・使用を禁じます。引用の際は出典を明記してください。

1年:紙の新聞→2年:WEB検索の変遷で見つかった課題

WEBの2年生の作品で特徴的なのは、**年単位での新旧記事が混在していたこと**だ。1年生では紙の新聞を3か月分揃えていたが、生徒は1ヶ月前の新聞でも「あ、古新聞や」と言うのに、WEBでは「古い記事だからやめとこう」という反応はなく、そのまま受け入れる。

その何が問題かというと、**継続性や続報があってその後事態が変わっている案件を、たまたまクリックした記事だけで判断してしまう可能性がある**ということだ。

これは、**SNSで5年前にバズった動画がさも今まさに起こっているかのように再び拡散され、それを疑いを持たずに見てしまう現象に似ている**。

© 2025 菊永真美 (大阪府立西成高等学校) / 無断転載・使用を禁じます。引用の際は出典を明記してください。

新聞ならば「古いから」となるのが、ネットで出会えば新鮮な気持ちで読むので、一見悪くないように思える。

とはいえ、**ニュースは時間・鮮度が大事**。「大変なことが起きている！」と日付も見ずに驚いたものの、今現在は解決している、とかまたは逆のこともある。**たまたま2年前の出来事に興味があって調べたのと、調べた結果2年前だったと後から知るのでは違う**。

インターネットの場合、配信日を意識していないと自分が見た時点のもので完結してしまう。本来ならば、**2年前と分かった時点で「では今どうなのか」と調べ直すことを能動的にできれば良いが、その意識のギャップが問題なのだ**。だから、web検索は便利なようでいて、実は難易度が高い。

© 2025 菊永真美 (大阪府立西成高等学校) / 無断転載・使用を禁じます。引用の際は出典を明記してください。

また、**紙の新聞とネットニュースの大きな違いは、見出しの長さ**。WEBのニュースサイトは大抵、見出しが長いのでひと目で分かりやすいという利点がある。

がしかし、1年で、紙の新聞の見出しを使った授業の事後アンケートには、「自分の知らないかっこいい言い回しに出会えた」「自分では思いつかないような言葉がたくさんあったので、作品を作る上でイメージが広がった」「新聞を作る人は素敵な言葉をたくさん知ってるのだなと思った」という感想が多数あった。



© 2025 菊永真美 (大阪府立西成高等学校) / 無断転載・使用を禁じます。引用の際は出典を明記してください。

おわりに



© 2025 菊永真美 (大阪府立西成高等学校) / 無断転載・使用を禁じます。引用の際は出典を明記してください。

アンケートからの実感：フィードバックの大切さ

- NIE授業後、前よりもニュースに触れる機会が増えたという結果になった(学力に関わらず)。がしかし、高校2年でそのレベルだと遅い。
- 事後アンケートは、生徒自身のフィードバックとして必要である。「何が身についたか」「何ができるようになるか」を意識させること、それ込みで小学校から段階的に積み上げていかないとけない。
- だから、小学生のうちから、自分で分かる範囲の社会とのつながりを意識する習慣をつけることが必要。本来ならば家庭環境がそうであるのが望ましいが、それが難しいなら学校で担うべきだろう。
- これを繰り返していくことで、NIEの目に見える実績として外にアピールできる材料となる。NIE実践者がどの学校にも、各教科必ず1人でもいるようになれば実現可能であろう。

© 2025 蜀永真実 (大阪府立西成高等学校) / 無断転載・使用を禁じます。引用の際は出典を明記してください。

余談：NIEの重要性を感じたエピソード

とある短期留学生から聞いた話。

「日本の高校生は幼い。話すことは恋愛や芸能人、流行りの遊びのことばかり。私たちの国では、差別や貧困、今の政権について、その他社会問題について友人間で意見を言い合うことが日常会話に普通にある。しかし日本の高校生は、知らないのか関心がないのか、それともそんな話をするのが憚られるのか分からないが、全くと言っていいほど、ない。だから彼らが幼く見えるし、物足りない。」

© 2025 蜀永真実 (大阪府立西成高等学校) / 無断転載・使用を禁じます。引用の際は出典を明記してください。

高校美術でのNIEの方向性

- 新しい時代に必要となる資質・能力の育成 (学習指導要領より)
 - ▶ 学びを人生や社会に生かそうとする、学びに向かう力・人間性等の涵養
 - ▶ 生きて働く知識・技能の習得
 - ▶ 未知の状況にも対応できる思考力・判断力・表現力等の育成
- 美術科で生徒に期待する姿
 - ▶ 自己のキャリア形成の方向性と関連づけながら、学習活動を振り返り、次につなげようとする
 - ▶ 周囲の人との対話、置かれている環境、先哲の考え方を手がかりに、確かな情報を選択し分析し、自己の考えを広げ深め伝えようとする
 - ▶ 世界史上で美術が担ってきたジャーナリズム的な役割を理解し、社会の諸問題と能動的に向き合い、自ら表現・発信しようとする

© 2025 蜀永真実 (大阪府立西成高等学校) / 無断転載・使用を禁じます。引用の際は出典を明記してください。

現実的な課題

- いわゆる「審査に関係のない」授業をカリキュラムに入れ込むのはかなりの力業。横断連携から評価のあり方も含め、教員間での組織的な理解が必要。
- 高校で質の高いNIEをするなら、早いうちからどこまで伸ばしてこれたか、そしてそれを引き継いでいく意識と行動を育てるという覚悟が必要。さもないと「要らないもの」になりかねない。
- しっかりニュースを読めて考えを書ける生徒は、学習意欲も高く、希望の進路を実現している傾向にあるのと、また、ニュースを読み込み分析する過程を経ることは、問題解決能力、非認知能力を伸ばす効果は確実にある。
- 成年年齢18歳。高等学校の担う主権者教育の役割と責任は大きく、重い。

© 2025 蜀永真実 (大阪府立西成高等学校) / 無断転載・使用を禁じます。引用の際は出典を明記してください。

美術科的動機づけ



- 社会の動きや周囲の様々な事柄に興味関心を持ち、自ら考え追求して行く姿勢を育成することで、教科目標である「豊かな人間性の育成」「感じ取る心」の育成につながる。
- 美術の表現において、芸術家は社会の動きに無関心であってはならない (by パブロ・ピカソ) という発想に基づき、自らの思いや考えを社会に発信するという意識を持たせる。

© 2025 蜀永真実 (大阪府立西成高等学校) / 無断転載・使用を禁じます。引用の際は出典を明記してください。

- 継続的に社会とつながり、正確で公正な知識と視点でもって主題を生成することは、教科目標である「豊かな人間性」と「感じ取る心」の育成につながると考える。画家たちが作品を武器に世の不条理と闘い、人間の歴史とともにあった美術の存在意義として、表現と社会は決して無関係ではないからだ。
↓↓↓だから…
- 生徒には、親に「ウチはなぜ新聞取ってないの？」と聞けるようになってほしい。なぜなら、新聞がなくなったら、監視するものがなくなるからだ。

© 2025 蜀永真実 (大阪府立西成高等学校) / 無断転載・使用を禁じます。引用の際は出典を明記してください。

- ・政治も経済も新聞が監視している。政治家も公的機関もちゃんと働いてくれているか、新聞に監視してもらわないと、隠されたままのことが増える。力のある人は不都合なことは隠すかもしれないから、一般市民の力は弱くなりかねない。一般市民もSNSなどでエンタメ的に政治家に文句を言うが、本気で学んで変えたいと思っているのか、外側からヤジを飛ばしているだけなのか、当事者意識の有無が問われる。

↓↓↓だから…

- ・我々教員は若者に対し、社会の一員として将来を担う自覚と実践力を育成する使命がある。

© 2025 聖永真実（大阪府立西成高等学校）／無断転載・使用を禁じます。引用の際は出典を明記してください。

- ・美術だけでなく、漫画でも映画でも小説でもポップスでもロックでもパンク（貧困であるとか仕事がないということを吐き出す）でも、ヒップホップやブルースジャズ（差別）、どんな手法であっても『表現者』が『表現』する内容は結局は社会と関わりのあることしか表現しない。ラッパーは自分の貧困やスラムからビッグになる！という一見自分のことを言うミクロで内省的な表現であるかのように見えるが、同じような層の若者に支持を得ている。つまり『表現』は、世に出てくる時点で社会と関わらざるを得ない形になっている。

© 2025 聖永真実（大阪府立西成高等学校）／無断転載・使用を禁じます。引用の際は出典を明記してください。

- ・だからこそ、美術とNIEは関わりが深い。『表現』とは、他者に訴えかけること、そして社会全体への投げかけ。芸術は自己表現というが、本当に自分のことだけを表現したものは共感を得ないし残っていかない。支持される『表現』は、自分の身近な社会問題をテーマにしている。だから、芸術とニュースは非常に密接な関係にある。
- ・社会と密接に繋がっていないと芸術は成り立たない。個人的なことを『表現』していても、人に共感・支持された時点で、社会性を持ったものになる。それが芸術としてのジャーナリズムなのだ。

© 2025 聖永真実（大阪府立西成高等学校）／無断転載・使用を禁じます。引用の際は出典を明記してください。

美術教育が担うべきは、社会に向けての正しい『表現者』の育成

- ・我々はネットに転がっているものが全て本物だとは思わないものの、疑われない人が増えた。それが良くも悪くも大きい波になってしまうことがある。だから「表現」には覚悟が要る。
- ・美術のNIEで育てたい生徒像は、フェイクニュースやインフルエンサーが虚言や誇張をあたかも真実かのように発信することに惑わされず、おかしいものは「おかしい」と、社会や政治の不条理について問い続けられる生徒であり、その思いを自分らしい手法で表現できる生徒である。

© 2025 聖永真実（大阪府立西成高等学校）／無断転載・使用を禁じます。引用の際は出典を明記してください。



美術科がNIEで育てたい

ニュースリテラシー、表現リテラシーとは「偽物を掴まないための教養」であり、「表現することの重さと責任を知り、自らの考えを発信できる能力」だと考える。



© 2025 聖永真実（大阪府立西成高等学校）／無断転載・使用を禁じます。引用の際は出典を明記してください。



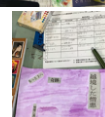
つまり、美術教育でのNIEは…



新聞を通して、
自分自身と向き合うこと



そこから生まれた表現活動を通して、
社会と向き合うこと



© 2025 聖永真実（大阪府立西成高等学校）／無断転載・使用を禁じます。引用の際は出典を明記してください。

表現＝芸術は生きることそのもの
自然も、人工物も、感情や思考もすべて
我々は「何か」を表現して生きている。

新聞は社会に生きる人々の生き様を
凝縮したもの。そして広く、深い。

開いてみると、誰にでも必ず、
心に留まる何かが見つかる。

新聞は生(せい)のモチーフの宝庫。

だから、美術で新聞は面白い！



美術はかつて報道の
役割を担ってきた

© 2025 西成美術 (大阪府立西成高等学校) / 無断転載・使用を禁じます。引用の際は出典を明記してください。

「画家は時代のジャーナリスト」



© 2025 西成美術 (大阪府立西成高等学校) / 無断転載・使用を禁じます。引用の際は出典を明記してください。



追加

美術とNIEの力
～西成高校での新たな取り組みに向けて～

© 2025 西成美術 (大阪府立西成高等学校) / 無断転載・使用を禁じます。引用の際は出典を明記してください。

・西成高校に異動して、地域や背景でラベリングされる現実直面している。そんな場所でこそ、正しく事実を知る権利を行使し、また表現力・発信力を身につける意味がある。

・戦争、差別、貧困などの問題が絵画に描かれてきたこと、表現は私的なものでも、鑑賞され共感された瞬間に社会的なものになることは前述の通り。まさに西成高校には、社会に投げかける、そして人間に問うべき素材がたくさんある。

© 2025 西成美術 (大阪府立西成高等学校) / 無断転載・使用を禁じます。引用の際は出典を明記してください。

・私がNIEを美術で行う理由は、

『偽物を掴まない教養と強さ』

を育てたいから。西成高校ではさらに、差別・偏見・貧困など身近な問題に対して、自ら考え表現できる力を育てたい。

・ピカソ、バスキア、バンクシーのように、芸術は最も静かで強い抗議にもなりうるのだ。教育の場でその声を絶やさないために。

© 2025 西成美術 (大阪府立西成高等学校) / 無断転載・使用を禁じます。引用の際は出典を明記してください。

絵画は家を飾りたてるためにあるのではない。
それは敵(ネガティブなもの)を攻撃するための、
あるいは敵の攻撃から身を守る為の武器なのだ。
パブロ・ピカソ



© 2025蜀永真美《大阪府立西成高等学校》／無断転載・使用を禁じます。引用の際は出典を明記してください。

参考文献

- ・高等学校学習指導要領（平成30年告示）pp.141-162，2018年
https://www.mext.go.jp/content/20230120-mxt_kyoiku02-100002604_03.pdf
- 『高等学校学習指導要領（平成30年告示）解説 芸術（音楽 美術 工芸 書道）編 音楽編 美術編』教育図書，2018年。
- ・山川詳説世界史図録（第5版）（2023），山川出版社
- ・最新世界史図録タペストリー 二十二訂版，帝国書院編集部
- ・グローバルワイド最新世界史図表（2024），第一学習社
- ・日本NIE学会（2024），探究の学びを拓くNIE－多様性の中の確かな指針として－，京都新聞出版センター
- ・週間アートギャラリー「ピカソ」（1999），デアゴスティーニ
- ・朝日新聞 天声人語，2022年4月15日（金），
2023年10月25日（水）
- ・ラッセル・マーティン，木下哲夫，（2003）『ピカソの戦争《ゲルニカ》の真実』，白水社
- ・宮下誠（2008），『ゲルニカ ピカソが描いた不安と予感』，光文社新書
- ・ベン・シャーン、アーサー・ビーナード（2006），『ここが家だ』，集英社
- ・常田健（2000），『土に生きる』，講談社
- ・蜀永真美，『新聞活用の工夫提案－NIEガイドブック高等学校編－』，日本新聞協会（2013），pp. 70 - 73，美術
- ・蜀永真美，『新聞で授業が変わる 学習指導要領に沿って－NIEガイドブック高等学校編－』，日本新聞協会（2022），pp. 54-55，美術

© 2025蜀永真美《大阪府立西成高等学校》／無断転載・使用を禁じます。引用の際は出典を明記してください。



ご清聴いただき
ありがとうございました

© 2025蜀永真美《大阪府立西成高等学校》／無断転載・使用を禁じます。引用の際は出典を明記してください。